



車座会議報告書

総務常任委員長 連記かよ子

今回は、平成18年に開設された徳島大学地域再生塾の皆さん方と3月20日に意見交換を行わせていただきました。

徳島大学地域再生塾は、徳島大学と那賀町が連携し、町の活性化を探り、特産品開発やITを活かした情報発信で産業の創出を目指すことを目的として開設されました。

徳島大学地域再生塾のこれまでの代表的な活動事例をご紹介します。

木頭ゆずの消費拡大を図るための木頭ゆず料理グランプリの実施、木頭ゆずをモチーフとしたユルキャラ「ゆず婆ちゃん」の制作や、毎月第四日曜日に開かれている産直市「なかなか市」の運営、特産品「はんごろし」「かきまぜ」のPR、上那賀地区にあるミニ四国霊場八十八所の地図づくりなど他にもいろんなアイデアを出してまちづくりのために活動していただいております。

会議では、冒頭地域再生塾のコーディネーター 高田さんから活動状況の報告があり、株田議長に続いて地域再生塾塾長の徳島大学大学院 山中教授、地域再生塾講師の徳島大学大学院 真田助教授のごあいさつの後、自己紹介を行い意見交換へと移りました。意見交換で出されましたご意見の一部ですが、下記にご紹介いたします。

- ・学校がなくなることは地域が寂れてしまう。子どもの数を減らさないような施策を展開し、学校を無くさないようにして欲しい。
- ・膨大な資源である木材を活かすためにもバイオマス燃料の開発を進めるべきだ。
- ・産直市「なかなか市」は、場所的に無理があるし、食品表示法や農薬などの制約により出品数も少なくなっている。お遍路さんのほか住民がもっと利用しやすい場所を探して欲しい。また運営面についても力を貸して欲しい。
- ・有害鳥獣である「シカ」を町の有効な資源として、ジビエ料理専門店を開くなどしてシカ肉の普及に力を入れていくべきだ。

このほかにも沢山のご意見やご提言をいただくことができました。

徳島大学地域再生塾の皆さん方からいただきました貴重なご意見やご提言、切実な願いを今後の議会活動に活かしてまいりたいと考えております。徳島大学地域再生塾の皆さんには大変お忙しい中ご参加をいただき改めて厚くお礼申し上げます。



私たち議会は、今後も引き続き各種団体の方々との意見交換会を実施したいと考えておりますので、意見交換を希望される団体の皆さんは、遠慮無くお近くの議員または議会事務局までお申し付けください。ご連絡をお待ちいたしております。